

事務事業名 予防接種事業		所属部 健康福祉部	所属課 健康推進課
総合計画体系	政策名 (Ⅲ) 支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》	所属G 総務G	課長名 岡田 志保
	施策名 (21) 健康づくりの推進	担当者名 佐藤 尚子	電話番号 0854-40-1045 (内線) 2143
	目的: 対 象 市民 意 図 心身ともに健康で暮らす。	予算科目 会計 款 大 事 業 大 事 業 名 0 1 2 0 0 2 項 目 中 事 業 中 事 業 名 0 5 2 0 0 3	保健予防事業
	基本事業名 (063) 病気の早期発見と重症化の予防・感染症の予防		予防接種事業
目的: 対 象 市民 意 図 病気を早期に発見し、また、重症化を予防する。感染症を予防する。			

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・定期予防接種: BCG/不活化ポリオ/四種混合(百日咳・破傷風・ジフテリア・ポリオ)/三種混合(百日咳・破傷風・ジフテリア)/二種混合(ジフテリア・破傷風)/MR(麻しん・風しん)/日本脳炎/子宮頸がん予防/ヒブ/小児用肺炎球菌/水痘/B型肝炎/高齢者インフルエンザ/高齢者肺炎球菌
・任意のワクチン接種費用の一部助成: 風しん

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	30年度実績(30年度に行った主な活動)	元年度計画(元年度に計画する主な活動)				
	① 個別予防接種	① 個別予防接種				
	A類予防接種	A類予防接種				
	・市内23医療機関	・市内21医療機関				
	・市外 県医師会集合契約参加医療機関	・市外 県医師会集合契約参加医療機関				
	B類予防接種(高齢者肺炎球菌・高齢者インフルエンザ)	B類予防接種(高齢者肺炎球菌)				
	・個別にて随時契約	・個別にて随時契約				
	・予防接種手帳・予診票の改訂	・市外 県医師会集合契約参加医療機関				
	② 任意予防接種の助成(風しん42件)	B類予防接種(高齢者インフルエンザ)				
		・個別にて随時契約				
	② 任意予防接種の助成(風しん50件)	② 任意予防接種の助成(風しん50件)				
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
ア	接種延人数(定期予防接種)	人	15,416	15,982	15,510	14,210
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
	予防接種法で定められた定期予防接種の対象年齢に該当する乳幼児・学童・高齢者	ア	0～7歳半までの人数	人	2,328	2,067	2,196	2,117
		イ	高齢者肺炎球菌対象者人数(定期予防接種)	人	3,213	3,385	3,172	2,358
		ウ	高齢者インフルエンザ対象者人数(定期予防接種)	人	14,609	14,718	14,715	14,700
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)		
予防接種を受けることにより、感染症の発生や、蔓延、罹患時の重症化を防止する。	ア	2期麻しん風しん接種率	%	94.5	97.7	94.3	100.0	
	イ	BCG接種率	%	101	89.0	100.0	100.0	
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
賃金67千円、報償費20千円、旅費32千円、需用費590千円、役務費164千円、事業委託75,633千円、使用料15千円、補助金224千円	財源内訳	国庫支出金	千円			1,156
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
	一般財源	千円	77,126	80,686	76,745	91,742
	事業費計(A)	千円	77,126	80,686	76,745	92,898
	人件費	正規職員従事人数	人	14	14	14
		延べ業務時間	時間	2,500	2,505	2,502
		人件費計(B)	千円	9,918	10,213	10,839
	トータルコスト(A)+(B)	千円	87,044	90,899	87,584	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
感染リスク、新たなワクチンの開発、副反応等を踏まえ毎年のように予防接種法が改正されている。乳幼児の予防接種の回数が増え、同時接種をする医療機関が増えている。25年度よりHPV予防ワクチンの接種は積極的接種勧奨が差し控えられている。H31年度より、風しん対策として対象者へ抗体検査・定期予防接種が実施されることとなった。	H24年9月から医療機関での個別接種で実施。H25年度から子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌の3ワクチンが定期化。H25年11月からは小児用肺炎球菌のワクチンが7価から13価に変更。H26年度10月水痘、高齢者肺炎球菌ワクチンの定期化。H28年10月B型肝炎定期化。	予防接種の種類が増加や複雑化のため、よりわかりやすい周知と安全な実施のため事故予防の取り組みが求められている。

事務事業名	予防接種事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康推進課
-------	--------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	接種環境を整えてきているが、接種率が伸びない。 市民への丁寧な周知と受けやすい環境の整備が必要。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			
	<input type="checkbox"/> 影響無	理由	感染症のまん延など市民の健康への影響が大きく廃止できない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 →	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	理由	類似事業がないため統廃合できない。
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	経費の大部分を占めるのは委託料であり、高い接種率を目指す要素が少ない。 子育て支援の観点から小児の予防接種について自己負担金を求めている。
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	予防接種は医療機関に委託しているため削減の余地はない。
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	市民を対象に法に基づいて適切に実施している。生活保護世帯への配慮も行っており公平公正である。
<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	予防接種法に基づき適切に行っている。国の法改正等にも適切に対応している。市民への周知の工夫を行う必要がある。
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種法に基づき適切に実施。 ・接種環境を整えてきているが、接種率が伸びない。 ・市民への周知を工夫する。 	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		